世代別・職業別タウンミーティングでいただいた意見と市の対応

『テーマ：商店街振興と中心市街地の活性化』

　平成28年8月2日（火）15：00～

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ☆ | 意　見　の　内　容 | 対応可能性と対応時期 | 対応策または不可能な理由等 | 担当課 |
| 1 | 土日祝日などの人通りの多いときに、ロープウェー通りを歩行者天国にできないか。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降■検討中□不可能□その他 | 　定期的な歩行者天国の実施には、関係者との意見交換により、課題の抽出と対策づくりから進める必要があると考えています。今後、関係者を交えた協議の場が整った段階で、市も積極的に協力していきたいと思います。 | 地域経済課織田　太一郎089-948-6548 |
| 2 | 　二番町跡地に愚陀佛庵を再建してほしいが、大きな課題は何か。また、寄付を募りお金が集まれば再建できる可能性はあるか。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 　昭和５７年に愛媛県が萬翠荘敷地内に再建した愚陀佛庵については、平成２２年に倒壊した後、平成２５年３月まで５回にわたり、愛媛県と松山市で組織した「愚陀佛庵復元検討連絡会議」で、候補地を３カ所に絞り検討しました。その中で、「どの候補地にも課題があったことから、再建は見送る。」とし、ご提案いただいた「二番町・愚陀佛庵跡」での再建については、本来あった場所であり歴史的意味での評価は高いものの、用地買収等に多額の経費を要することなどから候補地として適さないと結論付けていました。　しかし、平成２９年に子規・漱石生誕１５０年の節目の年を迎えることや、愚陀佛庵の再建がこれまで進めてきたフィールドミュージアム構想の実現にもつながることから、関係部局で改めて検討しています。また、秋山兄弟生誕地の再建の際には、（財）常盤同郷会が寄付を独自に集められ、現在も自主運営されている例がありますように、民間主導の盛り上がりも必要であると考えています。 | 坂の上の雲まちづくり担当部長付井上　純089-948-6996 |
| 3 | 　松山に魅力ある商店街があることを知られていないので、観光客の方にぜひ周知していただきたい。 | ■可　能□対応済□今年度中■次年度以降□検討中□不可能□その他 | 　松山の商店街を観光客に周知するため、市内の観光地に設置しているパンフレットの内容を更新する際に、商店街の場所や魅力を掲載してPRしたいと思います。また、Free Wi-Fiの普及が進む中で、ホームページへの掲載やＳＮＳの活用のほか、他市のイベント時にパンフレットを配布するなど、さまざまな方法で周知に取り組んでいきたいと考えています。 | 観光・国際交流課篠原　寿暢089-948-6556 |
| 4 | 行政が整備を進めているＷｉ－Ｆｉは、スピードが遅かったり再接続が難しく、使い勝手が悪い。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | えひめFree Wi-Fiは、民間通信事業者、大学、県内自治体などで組織する「愛媛県公衆無線LAN推進協議会」が、複数の民間通信事業者等のWi-Fiサービスをそのまま利用して整備しています。整備した通信事業者によって接続方法が異なり、使用場所が変わるとその都度登録が必要になることから、使いにくい状況と感じるのかと思われますので、今回のタウンミーティングでのご意見は、本協議会の事務局である愛媛県に報告します。なお、商店街組合で整備をする場合は、補助金の活用もできますので、地域経済課までご相談ください。 | 電子行政課岡田　優子089-948-6976地域経済課織田　太一郎089-948-6548 |
| 5 | 商店街も含めた統一のポイント制度を持ちたいが、市で研究会を立ち上げていただけないか。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 統一ポイントを発行するためには、各店舗の協力が不可欠です。まずは、商店街内でどの程度の参加店舗が集まるのか調査を行うべきと考えますので、今年度に予定している商店街関係者への意向調査の結果を検証し、商店街内各店舗の合意形成が図られれば、共に研究会を立ち上げ、支援策等について検討したいと考えています。 | 地域経済課米田　雅史089-948-6548 |
| 6 | 通訳は機械でできるようになってきているが、インバウンドに対する補助金を利用しながら商店街の活性化ができないか。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降■検討中□不可能□その他 | 経済産業省で「商店街・まちなかインバウンド促進支援事業」という、外国人観光客による買物需要等を取り込むための取り組みに対し支援を行う事業や、松山市でも、商店街の活性化を目的とした事業に対する支援として、「松山市商店街活性化支援事業補助金」という制度がありますが、ご相談の内容によって、どのような形で支援が可能か、現在の補助メニューで対応ができるかなどを検討したいと考えています。商店街の皆さんに、国が実施するインバウンド向けの補助金制度を活用していただけるよう、情報の収集や提供に努めていきます。 | 地域経済課米田　雅史089-948-6548観光・国際交流課菅　ゆかり089-948-6887 |
| 7 | 外国人観光客に対して、飲食店が利用できる外国語のメニュー表を作ってもらいたい。また、「指差し会話集」や「おもてなしペーパー」を市役所のホームページにＰＤＦで掲載してもらえないか。 | ■可　能□対応済■今年度中□次年度以降□検討中□不可能□その他 | 外国人観光客が快適に観光を満喫できる環境整備を進めるため、国土交通省四国運輸局が、飲食店のメニューでよく使われる用語を多言語化（英語、中国語〈簡体字・繁体字〉、韓国語）したデータ集を作成しています。今後、各飲食店が外国語のメニューを作れるよう、松山市オフィシャル観光ＷＥＢサイトへ、このデータ集を掲載したいと考えています。また、「指差し会話集」や「おもてなしペーパー」についても、ＰＤＦで掲載する予定にしていますのでご活用ください。 | 観光・国際交流課菅　ゆかり089-948-6887 |
| 8 | てくるんは、「まちづくり松山」が運営し、これまで商店街も一生懸命てくるんと一緒になってやってきたので、このまま継続してもらいたい。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | てくるんについては、その運営を行う事業者を公募した上で、審議会による選定等を経て決定する指定管理者制度を導入しています。そのため、特定の一事業者のみを優先することはできませんが、商店街との連携は、てくるんの運営上、必要不可欠であることから、募集の仕様書に商店街の連携・連絡調整を行うことを定めていますので、応募したどの事業者が選ばれたとしても、商店街との連携が進められると考えています。 | 地域経済課玉井　宏幸089-948-6548 |
| 9 | 雨が降ると、商店街では冠水する店もあるため、早急に何とかできないか。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降■検討中□不可能□その他 | タウンミーティング後の８月９日に商店街の浸水被害状況について質問者から説明を受けました。今後、８月中旬から浸水被害のある周辺住民の方への聞き取り調査や降雨時の雨水流入状況等の確認を行い、浸水被害の原因等を調べ、対応策を検討していきます。 | 下水道サービス課川上　清089-948-6956 |
| 10 | 中心市街地の道路整備は、歩行者だけではなく、将来的な車の通行量なども考慮して整備してほしい。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 市街地の道路計画については、目標とする市街地の将来像から地域の交通量を予測し、道路への車両の流入量と周辺道路の渋滞発生の可能性を検討するとともに、地元住民の方や学識経験者の意見も聞きながら、整備していきたいと思います。 | 都市・交通計画課辻田　幸生089-948-6479 |
| 11 | 中心部に観光バスを停める場所がなくなったので、一緒に話し合ってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 一番町駐車場の廃止に伴い、大型バス駐車スペースの確保を図るため、喜与町駐車場のバス駐車スペースを６台から９台へ拡張しました。なお、ピーク時には、民間のバス駐車スペースを案内するなどしていますが、現在、松山城の周辺で観光バスの渋滞等は発生しておらず、他の駐車場を案内するケースは減ってきています。また、大規模イベントの際には、市有施設などを開放し、駐車場として活用するなど円滑な運用に努めています。市内中心部は、自動車の通行量も比較的多く、自転車や歩行者などの様々な交通が混雑するため、道路上に観光バスの駐車スペースを設けることは困難な状況です。しかし、再開発などの実施に合わせて、敷地内に確保する方法等も考えられますので、今後も、観光客の動向や市場ニーズなどを把握するとともに、情勢の変化に適切に対応していくために、官民が連携しながら必要な検討を進めたいと考えています。 | 観光・国際交流課篠原　寿暢089-948-6556都市デザイン課遠藤　敬二郎089-948-6466 |
| 12 | 二番町の三越前の道路は土日混雑している。そこが１車線になるという話を聞いたことがあるがどうなっているのか。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降■検討中□不可能□その他 | 二番町通りの道路整備計画は、有識者や地域の代表者などで意見交換会を組織し、平成２２年から約１年間にわたり５回の意見交換を行い、その内容を受けて取りまとめました。大街道から東堀端までの二番町通りは、車線数を現状の２車線から１車線に変更し、歩行者や自転車の空間を創出する予定です。計画には、道路の交通量や渋滞状況など、総合的に調査結果を反映させていますが、ご意見をいただいた道路混雑については、再度、警察や関係者と協議し、安全で快適な道路になるよう事業を進めていきたいと考えています。 | 都市・交通計画課岡田　拓也089-948-6846道路建設課田井　理仁089-948-6476 |
| 13 | 中心市街地活性化のためにＪＲＡの場外馬券場をつくったらどうか。 | □可　能□対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | ＪＲＡの場外馬券販売場の開設者は、競馬法により、日本中央競馬会（ＪＲＡ）、都道府県または、著しく災害を受けた市町村か地方競馬を行っている市町村と規定されており、松山市の意向だけでは開設できないことになっています。近年、電話投票やインターネット投票による馬券購入が普及したことによって、場外馬券売場の利用者が減少し、全国で廃止や休止が相次いでいます。場外馬券売場などの公営ギャンブルの開設は、周辺住民はもちろん、多くの市民の理解が必要であり、学校や医療施設から適当な距離を置くことなど、関係法令の基準に適合することへの課題があると考えています。 | 農林水産課柴　竜己089-948-6561 |
| 14 | ペットボトルの分別回収についての効果が知りたい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能□その他 | 平成２７年度実績で、年間約１，２００トンのペットボトルをリサイクルしており、約４，６６０万円が松山市の収入となっています。ペットボトルは、服や卵のパック、車の内装材など、様々なものにリサイクルされ、活用されていますので、引き続き、分別排出にご協力いただきたいと考えています。 | 清掃課西山 昌宏089-921-5516 |